旭川永嶺高新聞

2017 SEPTEMBER 長月

Hokkaido Asahikawa Eiryo High School Newspaper

校訓　智仁礼

発行所：北海道旭川永嶺高等学校
新聞局
北海道旭川市永山町３丁目
北海道旭川永嶺高等学校内４F
発行責任者
局長　林　絢斗（3－1）

北海道旭川永嶺高等学校公式ホームページ
http://www.eiryou.hokkaido-c.ed.jp

新聞作成者
林　絢斗（3－1）
高島亜結（1－3）

国際協力体験プログラムに参加

本校では、国際交流活動を積極的に推進する動きが出てきている。今回は、その動きの特集を組んでみた。

8月7日にフィール旭川7階にて、中高生国際協力体験プログラムが「体験しよう！考えよう！開発途上国と先進国～その仕組みと課題～」をテーマとして行われた。

内容はJICAの活動についての説明、貿易ゲーム、青年海外協力隊の体験談を聞くというものだ。

JICAとは、開発途上国・地域に対する協力を目的としている独立行政法人で経済や技術協力、青年海外協力隊の派遣など幅広い活動を行っている機関である。貿易ゲームは、グループに分かれ、指定された道具のハサミ、コンパスなどを使って製品を作り、どれだけお金を稼ぐかを競うもので、世界の経済格差について体験するものである。青年海外協力隊体験談では、アフリカのマウライ共和国の生活や文化、協力隊の活動について、日本では想像できないトイレや食べ物など、異文化ならではの苦労を乗り越えた話をしてくれたという。

参加した、本校の国際クラブの部員である3名に話を聞いた。質問は以下の通り。

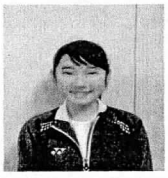
①貿易ゲームを体験した感想や思ったこと。
②元青年海外協力隊の話を聞いた感想について。
③参加して、具体的にはどのような考えになったか。

・水口陸さん（1の4）

①自分のグループには全ての道具があり、苦労が無くて楽しかった。
②自分は、アフリカとか興味が無かったけど、食事など暮らし方とか日本と別でアフリカに興味がわいた。
③そこの地域の暮らし方が違うから色んな国の暮らしを知りたいと思った。

・松浦朱里さん（1の4）

①貿易が分かった。ゲームでは、うまくいかないはずの途上国グループで資源が少なかったけど、2位までいけました。国同士の協力で変わる事があると分かりました。
②結構前から青年海外協力隊には興味があり、現地では無償で子ども達のために働くのは凄いと思った。
③世界の一面で恵まれていない子、貧しい子がいることが分かった。



・島尻夏希さん（1の7）

①世界には発展途上国と先進国によってないものがあって不平等だと感じた。
②現地で暮らすとき文化の違いを克服しなければならないと思った。日本のようにご飯はおいしくなくて、羽アリとかカメムシ、ネズミを食べているのはすごいと思った。
③発展途上国と先進国の違いを実感した。日本に生まれたことを改めて恵まれていると分かった。（1年高島）

海外校との交流

今回、U-18未来フォーラム事業を生徒により広く知ってもらうため、岸田先生にインタビューを行った。

北海道内で始まったU-18未来フォーラム事業。この事業は、英語での異文化交流を行い、対話などから異なる文化、生活習慣を理解し、人々と協調して生きていく態度やコミュニケーション能力の醸成、生徒の英語への興味や関心を向上させていくことを目的として始まった。本校では、1年次はコミュニケーション英語Ⅰと英語表現Ⅰの授業にて、海外協力校との2ヶ月に1回程度の英語によるビデオ会議をしたところ、異文化交流を行う。2年次はコミュニケーション英語Ⅱの授業にて、海外協力校と2ヶ月に1回程度対話や討論の言語活動の実施を予定している。また、協力校はニュージーランドのネルソンカレッジという私立の男子校で日本語を学ぶことを目的としている。今までのところまだ通信環境がしっかりと整っていないため本格的な実施には至っていないが、2年次の数クラスがビデオ会議をしたところ、協力校との会話を生徒は楽しめたとのことだ。ビデオ会議では、30名で5グループに分かれ、本校の生徒は英語で、協力校の生徒は日本語でそれぞれ自己紹介をした。岸田先生は最後に「今はスマホの翻訳機能を使って相手とコミュニケーションをとれるが、やはり相手と話すことも重要」と語ってくれた。（1年高島）

活躍する文化系部活動

《書道部》
8月31日～9月1日
平成29年度高文連上川支部書道展・研究大会（富良野市）
【特選】
久保田華歩（3の2）
夛田　理菜（3の2）
花本　法子（3の2）
原　百伽（3の3）
堀江　月（3の3）
濱野　千咲（2の2）
加藤　愛唯（2の6）
今井ももか（1の1）
【秀作】
河端　真由（2の3）
中山　愛海（1の2）
奥山　陽向（1の7）
【佳作】
松田　留奈（1の1）
笹谷季緒里（1の4）

《写真部》
9月8日
平成29年度高文連上川支部写真展・研究大会（東川町）
【最優秀賞】
山形優真（1の3）
【銅賞】
大澤賢恭（2の3）
【入選】
西村　淳（2の4）
山崎うらら（2の3）
高橋美羽（1の3）
【奨励賞】
天野思歩（2の1）

《吹奏楽局》
8月31日（札幌コンサートホールKitara）
第62回北海道吹奏楽コンクール高等学校A編成の部
金賞

生徒会選挙結果

9月16日の6校時に平成29年度生徒会執行部役員選挙が行われ、立候補者全員が信任された。新執行部は次の通り。

会長　関根　唯（2の1）
副会長　福島幸太郎（2の1）
副会長　今井ももか（1の1）
書記　石井はるか（1の1）
書記　小港歩果（1の1）
書記　島野珠希（1の1）
書記　伊藤彪磨（1の1）
会計　塩ノ入愛唯（1の4）
会計　中野実咲（1の5）
会計　島尻夏希（1の7）
文化常任委員長　天野思歩（2の1）
生活常任委員長　大野皓平（2の1）
体育常任委員長　蓮沼柚葉（2の6）

欠員だった保健常任委員長は9月21日の投票で山本さくらさん（2の6）が信任された。

男バス・弓道優勝

男子バスケットボール部は9月16日～17日に行われた北海道高等学校バスケットボール選手権大会旭川地区予選で優勝した。また、最優秀選手に大高琉聖さん（3の1）が選ばれた。弓道部は9月17日～18日に行われた北海道高等学校弓道選抜大会支部大会で男女共に優勝した。また、個人でも男子で丸田凌さん（2の5）と土田峻資さん（2の3）が同率優勝。5位に平野希竜さん（2の7）。女子では3位に野沢凪紗さん（1の6）、4位に熊谷梨沙さん（2の6）、5位に石川桃羽さん（2の2）が入賞し男女6名が全道大会に進出。

© 北海道旭川永嶺高等学校新聞局 2017